

木場潟公園東園地（第2期整備区域）サウンディング型市場調査の結果について

木場潟公園のさらなる魅力向上と一層の利用拡大を図るため、東園地第2期整備区域で予定している、オートキャンプ、アクティビティ、里山体験の各ゾーンについて、民間活力（Park-PFI等）の導入可能性及び民間事業者の参画意欲を把握することを目的に、サウンディング型市場調査を実施しました。その結果をお知らせします。

■調査概要

実施スケジュール	令和8年6月30日	サウンディング実施要領の公表
	令和8年7月22日～23日	現地見学の実施
	令和8年8月17日～21日	サウンディングの実施（個別対話）
	令和8年9月15日	サウンディング結果概要の公表
参加者	本事業への参画を検討する民間事業者 3社 業種：企画・製造・設計会社、管理運営会社	

■民間事業者からの主な意見

項目	主な意見
オートキャンプゾーン	・ファミリー層やアウトドア初心者層の利用を想定すると、高機能オートキャンプ場に特化した方がよい。 ・オートキャンプ利用者以外にも利用できるバーベキュー（BBQ）エリアがあるとよい。 ・他施設との差別化や安定的な利用者確保が重要である。 ・アクティビティゾーンとの往来がしやすい園路を整備した方がよい。 ・Park-PFIによる事業手法には関心があるが、オートキャンプ事業は継続的な利用者確保や採算性の面で難しさがある。
アクティビティゾーン	・モビリティを活用した体験型コンテンツが考えられる。 ・大型の立体アスレチックが考えられる。
里山体験ゾーン	・子どもを対象とした里山体験プログラムの充実が考えられる。 ・自然体験や食材採取体験ができる里山空間があるとよい。 ・さまざまなアウトドアプログラムに活用できる屋根付きの開放的な半屋外空間があるとよい。